

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 県産品海外プロモーション事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 海外展開係 電話番号：058-272-1111(内3814)

E-mail：c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,781 千円 (前年度予算額： 12,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	12,000	4,758	0	0	0	0	0	0	7,242
要求額	10,781	3,716	0	0	0	0	0	0	7,065
決定額	10,781	3,716	0	0	0	0	0	0	7,065

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県を代表する伝統工芸品等を扱う地場産業については、消費者のライフスタイルの変化等により国内需要が減少しつつあり、海外展開による新たな需要を喚起・開拓・拡大を図ることが必須である。

(2) 事業内容

世界有数の流行・情報発信拠点であるフランス、イギリス、アメリカ等の欧米諸国や成長著しいアジア等において、伝統工芸品のプロモーション及びテストマーケティングを実施し、知名度向上、ブランド力強化及び海外販路開拓につなぐ。
実施にあたっては、海外主要都市において実施しているトップセールス等による「観光・食・モノ」を一体化したプロモーションも活用しつつ、海外市場開拓を目指す県内中小企業を支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内企業が1から海外販路開拓を行うのはハードルが高い。

県が率先して販路開拓することにより、海外展開の経験が乏しく、貿易実務に疎い企業等が海外展開に積極的に取り組むための“呼び水”となることを狙うため、県事業として実施することが適当である。

(4) 類似事業の有無
なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	2,300	海外販路開拓のための出張旅費
需用費	808	海外テストマーケティングにおけるPR用県産品等
役務費	240	イベント通訳
委託料	7,433	仏国、英国、米国等での県産品海外プロモーション委託等
合計	10,781	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
 - ⑤ 「『清流の国ぎふ』ブランド」づくり
- ・岐阜県成長・雇用戦略
 - 5 県産品の世界展開プロジェクト
 - (1) 県産品の世界展開に向けた販路開拓・拡大支援
- ・岐阜県SDGs未来都市計画
 - II 自治体SDGsの推進に資する取組
 - 1 自治体SDGsの推進に資する取組
 - (2) 経済面：「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立

(2) 後年度の財政負担

世界有数の流行・情報発信拠点であるフランス、イギリス、アメリカで実施する岐阜県PRプロモーションは、一過性に終わらせるのではなく、現地における認知度やディストリビューター（流通事業者）等からの信頼を得て真のパートナーとなるため、少なくとも3年程度は、継続的に事業を実施する必要がある。また、トップセールスを活用することにより効果的に実施することができる。

(3) 事業主体及びその妥当性

公的機関である県が率先して海外に販路を構築することにより、海外においても県産品の信頼度が高まり、海外と県内企業との継続的取引へと繋がる可能性が高くなる。また、県レベルの方が県内全域から県産品を紹介できるため、より幅広いニーズに対応が可能である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

世界有数の流行・情報発信拠点であるフランス、イギリス、アメリカ等の欧米諸国や成長著しいアジア等において、日本酒や伝統工芸品のプロモーション及びテストマーケティングを継続的に実施し、知名度向上、ブランド力強化及び海外販路開拓につなぐ。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①輸出額(百万円) (岐阜県輸出関係 調査より)	584,261	796,211	850,000	900,000	900,000	88.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2 年度	新型コロナウイルス感染拡大により事業を中止。
	指標① 目標：900,000百万円 実績：766,948百万円(R元) 達成率：85.2 %
令和3 年度	新型コロナウイルス感染拡大により事業を中止。
	指標① 目標：900,000百万円 実績：766,948百万円(R元) 達成率：85.2 %
令和4 年度	<日本酒> 英国バイヤー等を対象とした試飲会及びオンライン商談会を実施 仏国バイヤー等を対象としたセミナー及び販売会を実施
	<工芸品> 英国バイヤー向けにオンライン商談会を実施 指標① 目標：輸出額900,000百万円 実績：796,211百万円 達成率：88.5%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	近年、経済のグローバル化・ボーダレス化に伴い、県内中小企業の国際化は産業政策上極めて重要な課題となっており、一層の支援強化が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	欧米諸国において実施した販路拡大PR活動を契機として、県内メーカーへの引き合いや取材依頼等も増えてきており、事業の有効性は非常に高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	海外に販売拠点や販路をもつ民間企業との連携で事業を進めることにより、単独では海外展開が困難な県内中小企業にも海外市場開拓・拡大の機会を提供することができている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 グローバル展開及び海外の連携会社の戦略・事業実施のスピードが速く、また実取引に進むには専門的な知識・ノウハウの習得や体制の構築等、組織能力の向上が求められるため、機会を提供しても、県内の中小企業が継続的な取引につなげることができているかが課題である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国内市場が縮小する中、県内企業の海外展開に対する支援ニーズが高まっている。今後も、県産品の海外市場開拓を促進するため、GAS等を活用した販路拡大に努めるとともに、デザイナー等との連携により、世界に通用する魅力ある新商品の開発が進むよう積極的に県内企業を支援する。また、経営資源の乏しい中小企業が、マッチングや商品開発の成果を具体的に収益化するために必要な、組織能力(貿易知識・ノウハウ、外国語対応力のほか、戦略構築、事業計画策定等)の強化・補完と、そのための方策の検討。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】